

## 第7回 市長と話そう会（山内町水尾地区）

日 時 平成29年6月28日（水）

19:00～20:05

場 所 水尾公民館

参加者 水尾地区民 28名



市民の皆さまと市長が直接語り合う『市長と話そう会』第7回目は、水尾地区の皆さんとの意見交換でした。まず、市長から市政について話をし、その後、多数、活発な意見をいただきました。内容を抜粋して掲載しております。

《掲載にあたり、一部個人のプライバシーに関する部分などについては省略しております》

### 市長より

最近、健康について考える出来事があったが、そこから感じたのが、自分の体は、自分で守らなければならないということ。そのためには健診に行ったほうがよい。市役所も今は健診月間。健診に行くことが大事。健診に行ってほしい。また、福祉を大事にしていきたいと考えている。福祉のそもそもの意味は、一人ひとりが自分らしく生きていけること。教育であれ何であれ、市でやっている事業は、ほぼ福祉になる。ここを充実させていきたい。この思いから、今、市内では健康教室を20箇所ほどやるようになった。しかし、厳しい話になるが、今後、国からの交付税が7億円減る。山内支所の3階に神村学園があるが、不登校や引きこもりの子どもたちも通っている。市からの予算はなく、民間で運営されている。市は誘致をただけ。お金がないときの福祉のやり方で、市は知恵を出して福祉を充実させている。競輪場の改修工事をやったが、競輪の売り上げを福祉に使いたい。少しでも行政サービスが悪化しないようにしたい。

今年10月にはこども図書館がオープンする。こども図書館を子育ての象徴にして、家を建てるなら武雄市内というようにしたい。ぜひ一度見に来てほしい。

5年後には新幹線も通る。高速も通っているので、車も鉄道も分岐点が武雄になる。武雄から長崎に通学ができるようになる。新幹線の開通をチャンスにしたい。ここ水尾に住みながら長崎とかで働けるようになる。そのためには、福祉など武雄の住みやすさを高めることが大事になる。武雄を人も金も集めるハブ都市にする。まず大事なのは、地域がしっかりしていること。コミュニティ、今のつながりを大事にしてほしい。

### 意見交換

（進行）事前に質問として受けていた県道と浄水場の管理についての回答をお願いしたい。

#### ① 県道の改良工事の進捗状況について（建設課より回答）

工事は進んでいるが、一部未施工になっている。県に確認したところ土地の境界がはっきりしていない。境界が確定すれば工事ができるが、確定していないので土地の買収にいたっていない。現在、法務局と協議をされており、職権で境界を確定できるように進められている。境界が確定し、買収が済めば工事に入る。市からも県に早く工事が進むように働きかけをしていきたい。

（参加者）

以前から工事はされている。そんなに時間がかかるものか？

（建設課）

境界の問題があり長くかかっている。この5月に職権で境界を確定するようになった。

#### ② 水尾浄水場解体後も地区で管理をして、水を農業用水として使用したい。（水道課より回答）

水については地区でバルブを管理してもらい農業用水として使ってもらっている。水尾浄水場自体は現在使用しておらず、管理棟・浄水場の施設は今年度の予算で解体する予定である。解体後も今までと同様バルブハンドルをいかした形で農業用水として使えるよう考えている。

(参加者)

ダムの底からバルブまで水がどう流れているのか。バルブがたくさんある。配管が古いので、今後使えなくなる可能性もあるのでは？

(水道課)

調べ直して、今のバルブ操作のみでできるようにしたい。工事の日程が決まり次第挨拶に伺いたい。

(参加者)

解体後の管理はどうなるのか？

(市長より)

どういうやり方があるのか考えさせてほしい。

### ③ その他

(参加者)

野菜・米を作っているが、去年猪の被害にあい、一反近くだめにした。猪の捕獲数はどれくらいか。

(市長)

具体的な数字は、後で報告する。昨年は猪の被害が多かった。猪は武雄だけでやっても効果がないので、広域的な取り組みを周辺の市町とやっていきたいと思っている。今後は鹿の問題もある。市の方でもどういふ鹿対策ができるのか早急に考えようと思っている。